



あけまして、おめでとうございます



去年より良い年にするため、成長するため、新しいことにチャレンジしてみるのはいかがでしょうか？
新しい趣味、生活習慣の改善、何か始めたい…、そんな思いに応えてくれる本を紹介します。



『現代文化入門講座』

日本経済新聞社/編 日本経済新聞出版社 請求記号：361

各界著名人が映画、音楽、文学、絵画について紐解き解説している本です。
日経新聞夕刊に連載されていたものをまとめたもので、興味のない分野でも楽しんで読むことができます。

『作家の珈琲』

コロナブックス編集部/著 平凡社 請求記号：9102

作家の愛した珈琲にまつわるエピソードと、作家お気に入りの珈琲、喫茶店、お菓子が紹介されています。あなたはどの作家や珈琲が気になるでしょうか。



2016年 話題になった本

『天才』

石原慎太郎/著 幻冬舎

自らも政治家として相まみえた「田中角栄」の真の姿を、元東京都知事石原慎太郎がモノローグで描いた作品。



『君の臓腑をたべたい』

住野よる/著 双葉社

主人公が拾った一冊の本は、クラスメイトである山内桜良が綴っていた秘密の日記帳だった。

『嫌われる勇氣』

自己啓発の源流「アドラー」の教え
岸見一郎・古賀史健/著 ダイヤモンド社

多くの自己啓発書の源流ともいえる心理学者アドラーの思想を、アドラー研究の第一人者とライターが対話形式で解き明かす。



人気の為、ご希望の方には予約のご案内させていただきます

図書館員オススメ
没後 50 周年作家の本

谷崎潤一郎

『春琴抄』 新潮社

盲目の三味線師匠春琴と、春琴に仕える佐助の愛と献身を描いた作品。
句読点が極端にすくない文体が特徴で、スルスルと話が進んでいくのが心地よい作品。

江戸川乱歩

『江戸川乱歩名作選』 新潮社

『石櫛』『押絵と旅する男』『陰獣』『目羅博士』『人でなしの恋』『白昼夢』『踊る一寸法師』の七編を収録した短編集。
不気味な登場人物や物語に漂う独特の雰囲気グイグイ引き込まれます。
短編集とはいえ、読み応えがあります。

<一般書コーナー 今後の展示予定>

- 1月 成人の日おすすめ本（若い人に贈る本）
- 2月 入園・入学の特集
- 3月 お花見特集

